

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2003-126033 (P2003-126033A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 7 日 (2003.5.7)
 【出願番号】特願 2001-331087 (P2001-331087)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 1/06
 G 0 2 B 3/00
 G 0 2 B 6/42
 G 0 2 B 23/26

【F I】

A 6 1 B 1/06 A
 G 0 2 B 3/00 Z
 G 0 2 B 6/42
 G 0 2 B 23/26 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 1】

したがって、ライトガイド 16 の入射端面（基端面）は、極小になっている。この極小の入射端面に上記照射光を確実に入射させるために、図 2 に示すように、集光レンズ 23 とライトガイド 16 との間の照明光路上には、集光レンズ 23 より集光度の低い一対のボールレンズ 30, 31（光学素子）が配されている。集光レンズ 23 側の大きいボールレンズ 30（光強度分布変換素子）は、ライトガイドコネクタ 24 に設けられ、ライトガイド 16 側の小さいボールレンズ 31（光捕捉素子）はライトガイドプラグ 15 に設けられている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 5】

ライトガイドプラグ 15 は、プラグ本体 17 と、このプラグ本体 17 の端部に螺合されたプラグキャップ 18 とを備えている。プラグ本体 17 には、ガイド収容孔 17a が形成され、このガイド収容孔 17a にライトガイド 16 の入射端部が収容されている。プラグキャップ 18 には、ガイド収容孔 17a と同軸をなして連なるレンズ収容孔 18a（捕捉素子収容孔）が形成されている。このレンズ収容孔 18a に、上記光捕捉用ボールレンズ 31 が収容されている。このボールレンズ 31 に、ライトガイド 16 の入射端面が正確に位置決めされている。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 1
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

